

登録コード	E2570900	開講年度	2026				
授業科目	美術史・美術理論基礎				担当教員	小野 文子	
英文授業名	Theory of Art for Beginner				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生	
講義室	教育N 2 0 4 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	美術の歴史や論理的な背景について学び、教育の現場における美術の多様なあり方とその可能性について理解することができるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	美術の歴史や論理的な背景について学び、教育の現場における美術の多様なあり方とその可能性について理解することができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	美術史や美術理論についての基礎的な知識、考え方について講義する。前半は美術史、後半は美学・芸術学を中心とする。 連絡事項はe-ALPSに情報をアップしますので、随時確認して下さい。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：美術 ― 言葉の成り立ちとその意味 第3回：美術史や美術理論とは何か、なぜ学ぶ必要があるのか 第4回：美術作品に親しむ 第5回：研究分野としての美術史の歴史 第6回：美術史研究について 第7回：美術史研究の方法 ― 研究対象としての美術作品 第8回：美術史の時代区分 第9 回：美術史の様式と精神 第10回：図像について 第11回：ジャンルについて 第12回：美学、芸術学について① 第13回：美学、芸術学について② 第14回： 資料の検索と収集方法第 (授業アンケート)						
(6)成績評価の方法	レポート ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	事前事後の学習については、自ら学ぶべき課題を設定し、資料収集やその整理、読解、分析を行うこと。						
(9)履修上の注意							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	oayako@shinshu-u.ac.jpに連絡のこと。						
【教科書】	使用しない。						
【参考文献】	授業中に紹介する。						